

# 東北初SSゼロ市町村に

## 町が公設民営で存続検討

### 三島町

#### 唯一のガソリンスタンド終了



営業を終えた「宮下SS」。三島町唯一のSSだったため、公設民営での存続が検討されている

三島町で唯一のガソリンスタンド（サービスステーションSS）だった「宮下SS」が営業を終了した。全国石油商業組合連合会によると、市町村内にSSがなくなったのは東北地方で初めて。車への給油や暖房用の灯油購入で利用してきた住民の生活への影響は大きい。町は災害時の燃料供給にも支障が出かねないとして、公設民営のSSとして存続させる方法を含めて検討に入った。

宮下SSは四十年間以上営まれてきたが、七月に経営していた男性が亡くなり、営業終了を余儀なくされた。町によると、通行量の少ない場所に立地し、採算面の事情から民間での存続は困難な状況という。

住民らの車の他、町や県の出先機関の公用車や除雪車への燃料補給を担ってきた。住宅や公共施設の暖房などに使う灯油も販売し、豪雪となる冬に配達を依頼する住民も多かったという。隣の柳津町、金山町にある最寄

りのSSまでは十キロ以上離れている。

二〇一六（平成二十八）年に実施した町内世帯対象のアンケートでは、町内でSSが存続してほしいと望む回答が全体の八割以上を占めた。町は町内にSSは不可欠だとして、施設を譲り受けて民間に運営を委託する方法を含めて調整している。採算難を補うため、運営への公費投入も視野に入れる。九月定例議会に関連議案を提出する見通し。

全国石油商業組合連合会によると、人口減少地域を中心に、民間の給油所が廃業して「SS過疎地」となる事例が増えている。自治体などがSSを設置・運営するケースは全国で十カ所程度あるという。